

始業式・入学式等の実施の考え方について

2020,3,26

益田市教育委員会

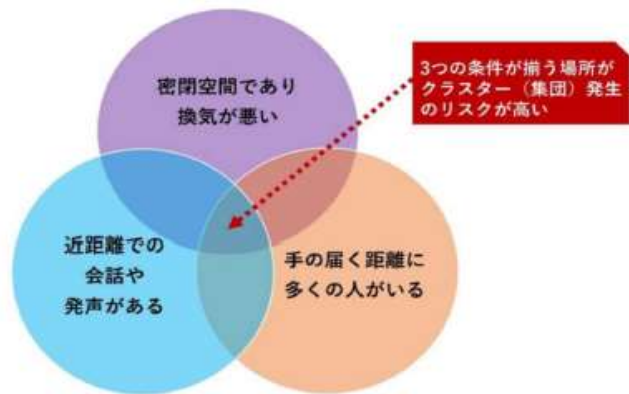
卒業式、修了式、離任式等においては各学校で最大限のご努力をいただき大変ありがとうございました。授業等の再開に向けて国から新しい方向性が示されました。しかしながらまだまだ予断を許さない状況であることを意識していただき、「3条件の重複回避」に向けて重ねてご苦勞をおかけしますがよろしく申し上げます。

3/19に国の専門家会議によって下記のような感染拡大の防ぎ方の方向性が示されました。

専門家会議が3月19日に示した提言²では、この「『3つの条件が同時に重なる場』を避けるため、

- ① 換気の悪い密閉空間にしないための換気の徹底
- ② 多くの人が手の届く距離に集まらないための配慮
- ③ 近距離での会話や大声での発声できるだけ控える

など、保健管理や環境衛生を良好に保つような取組を進めていくことが重要」であるとされている。



以下に、3つの条件の重複を回避する工夫例をあげますので参考の上、対応をお願いします。

①の工夫例

- ・換気を計画的に行う（1時間に1回など）または、窓や扉を開放状態とする
- ・座席等の間隔を広げ、障害物を取り除くなど風の通りやすい環境を作る
- ・最短時間で終わる内容にする（教育委員会からの告示は行いません。後日告示文を送りますので、対応よろしく申し上げます）

②の工夫例

- ・座席の間隔を空ける
- ・必要最小限と考える人数で行う（来賓は入学式では呼ばずに学習公開日等に招待する、式の目的等に照らし合わせて在校生の参加人数を工夫するなど）

③の工夫例

- ・咳エチケットの徹底
- ・保護者に可能な限りマスク着用をお願いする（予備のマスクを市教委で準備する）
※マスク着用については予防より飛沫感染を防ぐ目的と考えます
- ・発声場面を最小限にする（式歌等を省くなど）